

「生まれてから亡くなるまで」を支える

～健康医療情報コーナー「バオバブ」の取り組み～



東近江市立能登川図書館（滋賀県東近江市） <http://www.library-higashiomi-shiga.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	東近江市山路町2225
電話番号	0748-42-7007
人口（図書館が所在する市町村）	116,603人
職員数（うち有資格者数）	50人（47人）
蔵書数	928,199冊
登録者数	60,397人
年間貸出冊数（H24）	1,072,766冊

目的・趣旨

・東近江地域では、住民が生き生きと地域で生活できるよう、安心・安全に医療、福祉介護等を受けられる地域づくりをめざしている。その中で図書館の役割は健康・医療についての幅広い情報収集や資料提供を行うことにあるとし、「健康医療情報コーナーバオバブ」を開設した。

取組概要

- 東近江地域で「地域から医療福祉を考える東近江懇話会」が発足
- 地域の医療にかかわる課題整理、それぞれの立場で実践する
- 図書館を会場とした「子どもの医療勉強会」の開催
- 地域医療を支える診療医を取材した写真及び講演会の開催
- いのちや介護、医療をテーマにしたドキュメンタリー映画の上映会
- 周辺地域の医療・福祉機関が発行する情報誌の収集・提供



健康医療情報コーナー
バオバブ

特徴

- 健康医療情報コーナー「バオバブ」には病気に関する本や闘病記のほかに、「出産育児」「福祉」「介護」「いのち」「医療環境」などについての本、地域医療や地域福祉に関わる資料、チラシやパンフレット、新聞記事等も、収集・提供している。

本は約6,600冊、医療・看護・福祉分野の雑誌6誌、新聞記事ファイルを所蔵。



地域の情報ひろば



病名分類シール



バオバブ雑誌コーナー

- 本の分類は、「闘病記文庫プロジェクト」作成のものを元に独自分類。各主題ごとに病名分類シールを貼り排架。
- 「生まれてから亡くなるまで、誰もがいきいきと地域で生活できること」をキーワードに情報収集・発信を行うことを目指している。また、医療勉強会へ参加し、最新の医学情報の収集に努めている。

取組の成果と今後について

医療従事者の利用に留まらず、住民自身や家族の病気や健康情報を深めるといった活用の幅が広がっている。今後も患者や市民、医療従事者に対しての資料・情報を充実させるとともに、住民一人ひとりが病気を正しく理解し安心して暮らせる地域づくりにつなげたい。また図書館単独では限界のある医療情報の収集・情報発信については関連機関との連携をさらに深める。